
妖精のハリィ

梨奈

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

妖精のハリイ

【Nコード】

N3261Z

【作者名】

梨奈

【あらすじ】

とある国が原因不明の毒雲どくぐもの発生により滅亡した。

平和主義の妖精が住むこの緑豊かな国がなぜ？

毒は2人の大人の妖精の命と引き換えにより消された。

したがってほかの国に毒が広がる危険性はなくなった。

が、もうこの国には妖精はいない。・・・滅亡したのだ

・・・一人の少年を残して・・・

はじまり＝＋＊：ハリイ：＊＋

いつだったかな。父さんがぼくに言ったんだ。

「怒りは戦争の引き金になるんだ」って

僕もそう思った。

戦争なんて見たこと無いんだけど、いけないものだって近所のピサ口おばさんにも教わったから。

ねえ。父さん。

僕どうしたらいい？

泣いたんだ。いっぱい、いっぱい涙を流したんだ。

隣の国のルスタおじさんが「泣いてもええよ」って言ってくれたから。

今の気持ちを正直に表したんだ。

でももう涙が出ない。

泣きたくても泣けないんだ。・・・ちょっと疲れたのかな？涙が出てくれないんだ。

泣きたいのに。おもいきり流したいのに。

泣かないと、この誰にぶつけて良いのか分らない怒りが、僕を襲うんだ。

怒りは戦争の引き金・・・
ねえ。父さん。僕。

どうしたらいいの・・・？
生きてる意味ってあるの？
なんで僕だけここにいるの？？

どうして父さんは僕を生かしたの・・・
みんなのいないこんな世界
生きてたって何にも面白くない。

風が当たる。
イカ焼きのおいもする。
お腹がすいたって。思った

僕の体は「生きたい」「つてぞ。
僕は僕自身、父さんたちのいる場所に逝きたい。

僕は今、隣の国にいるんだ。
今立ってるここから跳び降りれば・・・はねさえ使わなければ・・・

・・・ぼくは・・・

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3261z/>

妖精のハリィ

2011年12月11日10時52分発行